

# Welch Allyn Spot™ Vision Screener Vision for Future

小児の弱視を早期発見するために、関わるすべての医療従事者の皆様へ



www.welchallyn.jp

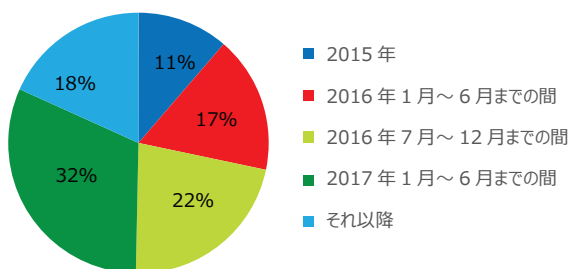
## はじめに

ウェルチ・アレンは、1915年に Francis Welch 医師と技術者 William Noah Allyn が「患者さんの眼を、もっと簡単に、しかも的確に検査できる方法はないだろうか？」と考え、世界初の携帯型直像検眼鏡の開発、および製造に成功したところから始まりました。創始者の思いは、ウェルチ・アレンのすべての機器に受け継がれ、今は世界各国にそのネットワークを広げています。特に「眼」については「Vision for All」とのスローガンを掲げ、乳幼児から高齢の方々に至るまで、眼に関わる様々な診断機器、スクリーニング機器をご提供しております。特に2015年の夏に販売を開始した「ウェルチ・アレン スポット ビジョンスクリーナー」(以下略: スポット) は、測定距離が長い被験者に圧迫感を与えず、両眼同時測定が可能で、非常に使いやすい「携帯型ビジョンスクリーナー」として、日本で、そして全世界で注目を浴びています。本紙「Vision for Future」では、スポットをご使用いただいている皆様への情報提供、また、情報共有を目的としています。そして更にユーザーインタビューを通して、実際にお使い頂いている方々のお声をシリーズ化することで、弱視の早期発見の重要性についても、様々な観点から考えていきたいと思います。

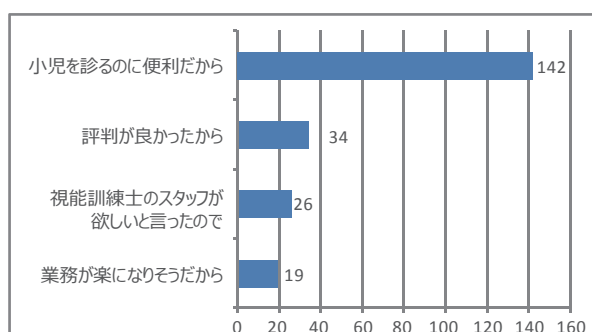
第12号となります Vol.12 では、2017年末に実施した日本での SVS 全ユーザー対象アンケートの集計結果と、様々なユーザーの先生方のお声をまとめてみました。「Vision for All」-それが私たちウェルチ・アレンのビジョンです。

## SVS に関する基本的な情報 (眼科クリニック抜粋)

【Q1. SVS の導入時期】



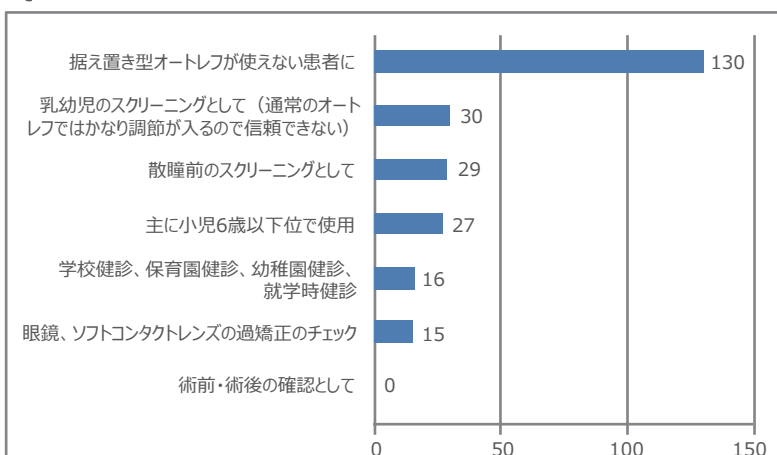
【Q2. 購入動機は? (複数回答可)】



### 【その他】

- ・3歳児健診、保育園、就学时、学校での健診ため
- ・往診/在宅医療に使えるかもしれないと思った、持ち運びできるため
- ・0～2歳までの小児の屈折検査でスキアがとれない、レフがとれない症例に対し活用目的として

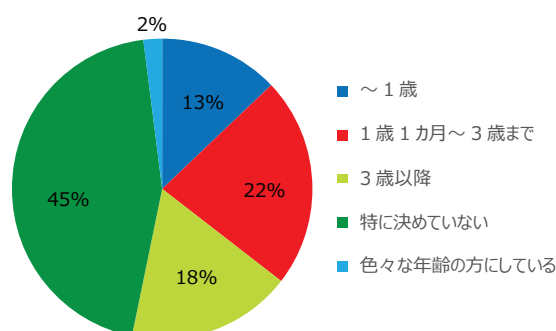
【Q3. SVS は実際、どのようなシチュエーションで使用していますか (複数回答可)】



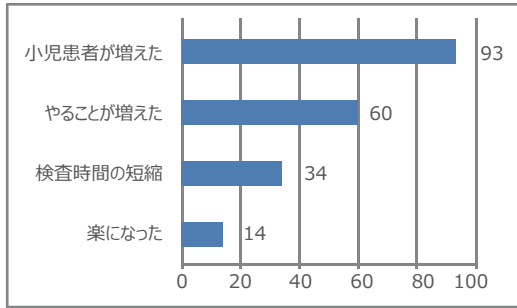
### 【その他】

- ・近接せず測定できるので、嫌がる子供でもSVSのみは可能というケースも多い
- ・またSVSをきっかけに他の検査もやりやすくなることもあるので、初診時は積極的に使う
- ・サイプレ代わりに、両眼開放のレフ値を測りたい時に

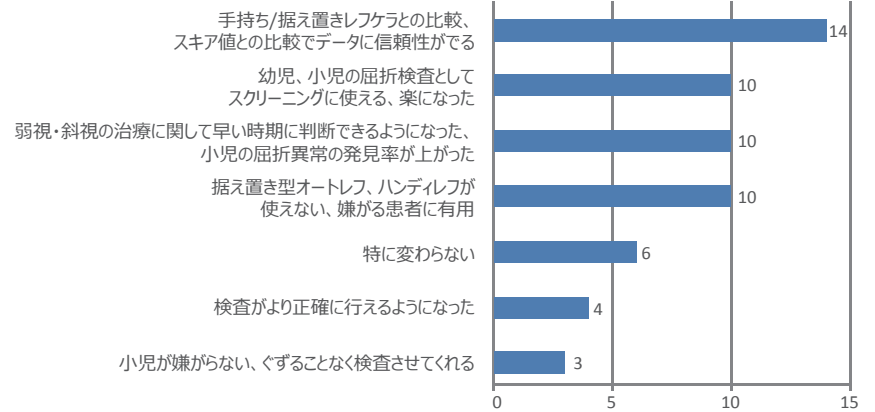
【Q4. 機器を使用している患者さんの年齢はいつですか?】



【Q5. SVS を導入したことで、今までの業務がどのように変わりましたか？】



SVS を導入したことで、変わったこと

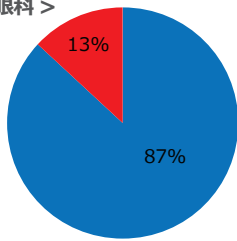


【その他】

- ・ 検査への協力が得られない患者様（特に小児）に対し SVS の測定ができていれば両親への説明する幅が広がります

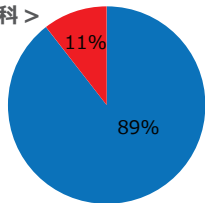
【Q6. SVS を他のドクターにも勧めたいですか？】

< 眼科 >

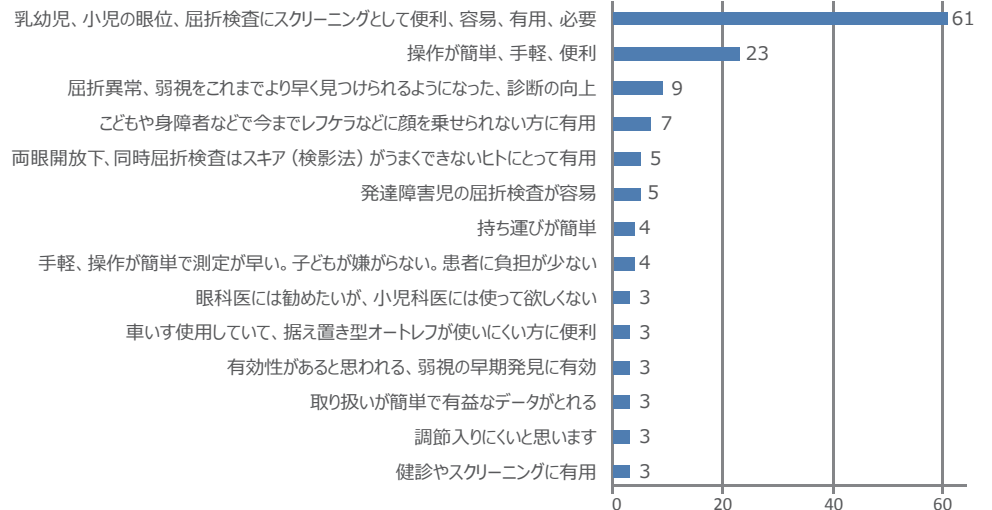


■ はい ■ いいえ

< 小児科 >



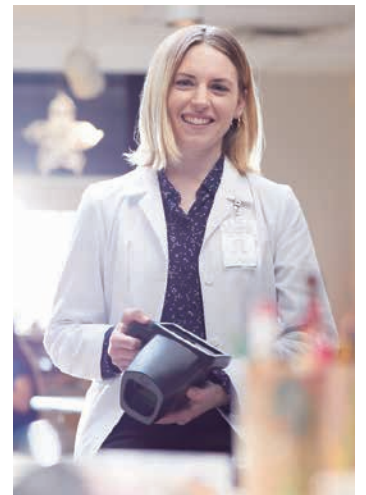
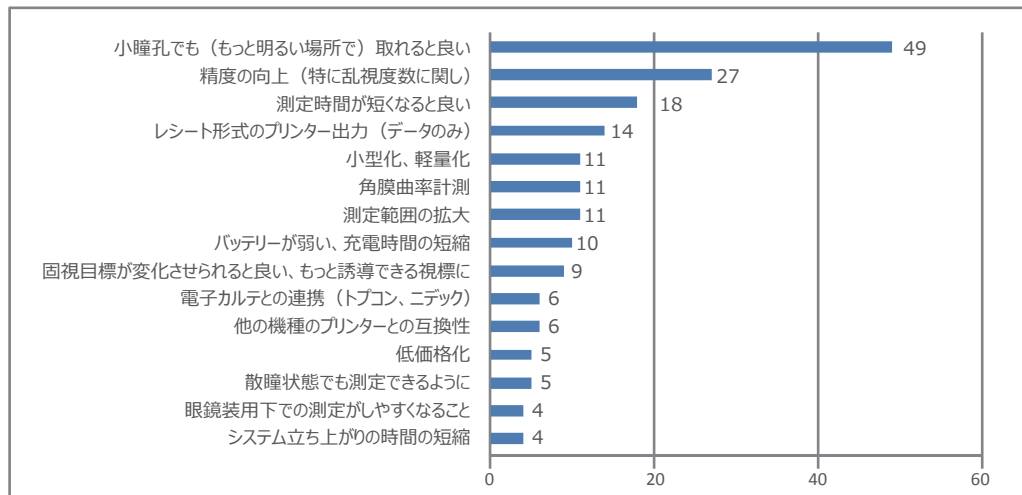
SVS を他のドクターにも勧めたい理由



【その他】

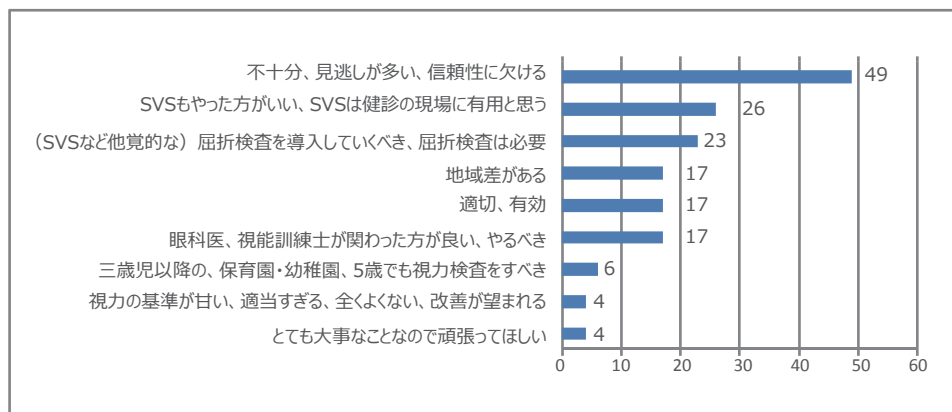
- ・ 眼鏡上からの屈折チェックも可能なところが有意義
- ・ 小児への眼鏡処方時の過矯正はかなり防げるのでは

【Q7. SVS にこれから期待することは何ですか？】

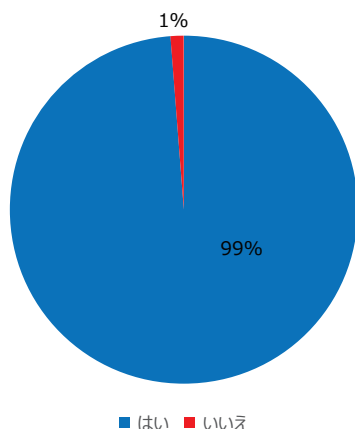


## 3歳児健診に関して

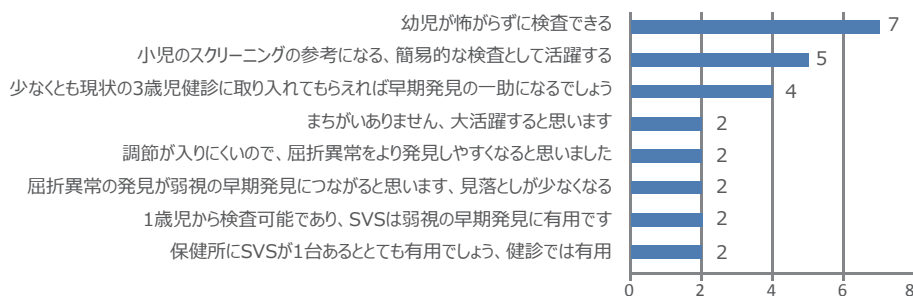
【Q8. 弱視の早期発見について、現在の日本の3歳児健診の状況をどうお考えですか？（眼科）】



【Q9. 弱視の早期発見に SVS は今後、活躍すると思いますか？】



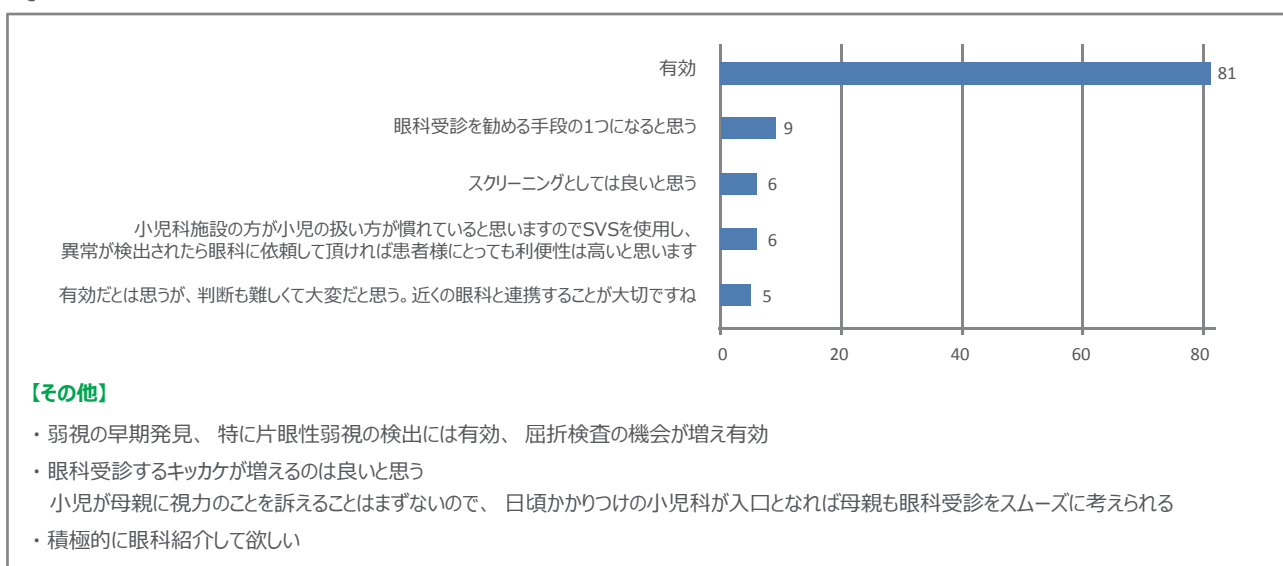
### 今後活躍すると思う理由



### 【その他】

- ・両眼開放、両眼同時の屈折測定なので調節が入りにくいので左右差を診る上で有用と考える
- ・使えば、今より「屈折」に注目してもらえるので良いと思う

【Q10. 小児科で SVS を使用して弱視のスクリーニングを行うことは有効だと思いますか？ また小児科で SVS を使用されている先生方へのアドバイスなど】



### 【その他】

- ・弱視の早期発見、特に片眼性弱視の検出には有効、屈折検査の機会が増え有効
- ・眼科受診するきっかけが増えるのは良いと思う  
小児が母親に視力のことを訴えることはまずないので、日頃かかりつけの小児科が入口となれば母親も眼科受診をスムーズに考えられる
- ・積極的に眼科紹介して欲しい

## その他、SVS または当社に関するコメント、ご意見

- ・当院ではアトロピン、サイプレジン前後にて据え置きレフ、レチノマックス、SVS と結果の比較をしました  
その結果から SVS はスクリーニング（特に小児の弱視対策）にとても有効だと感じております
- ・簡便に検査ができ、外来でとても役立っています。ありがとうございます
- ・レンタル等を行い、もっと知ってもらい、拡散して行って欲しい
- ・SVS は子供が怖がらずに屈折検査ができる素晴らしい機器なので、日本人向けにより改良して頂きたいと切に願っています
- ・3 歳児健診を行っている区の担当者とその重要性について働きかけてもらいたい
- ・世間一般へ、3 歳児健診の有効性を、関連企業と共に広く宣伝広告・告知事業を行って欲しい
- ・平素より大変お世話になっております。SVS は当院の診療になくてはならない機器となっています  
今後も SVS の更なる可能性を見つけ診療に役立てて行きたいと思っております
- ・異常値を日本人向けによりシビアに設定しなおし、小児科でのスクリーニングに活用してほしい  
同時に小児科への導入時にきちんと評価できるように小児科医に学ぶ機会があると良いと思う  
小児科と眼科のパイプを御社にになってもらいたい  
SVS は子供が怖がらずに屈折検査ができる素晴らしい機器なので、日本人向けにより改良して頂きたいと切に願っています
- ・先日 20 年間続けている障害児通園施設の眼科検診がありました  
昨年までは手持ちレフを使用しておりました。今年は SVS を使用したところ、多感、多動、センシティブな障害児にスムーズに検査が出来ました  
眼鏡装用の上からもできて便利でした。SVS の有効性を再確認しました（小瞳孔・眼振のある児は不可でした）



### Spot™ Vision Screener（スポット ビジョンスクリーナー）について

スポットは6か月乳児から成人まで、より容易な屈折度測定を可能にしたビジョンスクリーナーです。瞳孔検知後、瞬時に両眼測定完了するスピーディで正確な測定技術、験者にとっても照準の容易さ、測定結果の速やかなりレポート機能、ワイヤレスでのレポート印刷機能等、優れた特徴を多く兼ね備えた新しい携帯型スクリーナーです。製品に関するご質問、お問い合わせ、より詳しい資料などにつきましては弊社までお問い合わせください。



Welch Allyn Spot™ User Interview “Vision for Future” vol.12 , 2018